

New Sophia Hospital

ニューソフィアホスピタル

福岡歯科大学医科歯科総合病院

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号 TEL092(801)0411

No.21
2018.5



病院の理念

私たちは、豊かな人間性を備えた有能な医療人を育成し、安全で質の高い思いやりのある病院をめざします。

病院の基本方針

1. 患者中心の医療
 - ・ 患者さんの人格を尊重した優しさのある医療を提供し、医療倫理の向上をめざします。
2. 高度医療の提供
 - ・ 医科歯科総合病院として多職種が協力し、高度な医療を推進します。
3. 地域医療への貢献
 - ・ 地域の基幹医療施設として、地域包括ケアシステムに応じた連携医療を充実させます。
4. 全人的医療を実践できる医療人の育成
 - ・ 高い倫理観を備え、患者さんの身になって考えることのできる医療人の育成に努めます。

内視鏡センターからのお知らせ

大腸内視鏡検査は苦痛なく半日で受けられます

内視鏡センター長 教授 池田哲夫

大腸がんは増えています。

「鉄人」と呼ばれたプロ野球選手衣笠祥雄さんの命を奪った大腸がんは、東京オリンピックの2020年には男女とものがん死因の第1位になると推察されるくらい増加しています。

大腸内視鏡検査により、大腸がんの発生率と死亡率を確実に減らすことが可能です。

大腸がんは大腸粘膜の細胞から発生します。もともとは正常な細胞も、何らかの原因で“がん細胞”に変身しますが、大腸がんの多くは正常の大腸粘膜が良性のポリープ（腺腫）になり、さらに腺腫が悪性の“がん”になる経路adenoma-carcinoma sequence（腺腫-がん連関）をたどります。この場合、がんになるまでの期間（通常数年以上）は症状は全く無くても、内視鏡検査ではポリープとして発見され、その時点で内視鏡で切除（ポリペクトミーなど）すればがんになる前あるいは早期の段階で治療して治すことが出来るのです。

苦痛無く、しかも半日で大腸内視鏡検査を受けることが出来ます。

大腸内視鏡検査をためらってしまう三つの理由は、①検査自体が痛いあるいは苦しうだから②検査前に大量（2ℓ）の下剤を飲まなくてはならないから③病院に拘束される時間が長い（一日がかり）からです。

大腸内視鏡検査を“痛くない、苦しくない、検査”にするために、本院では、最新の内視鏡機器を導入し「水浸法」での検査を行っています。この技術は従来の内視鏡挿入法（空気法）に比べ、痛みが少なく、かつ安全な挿入法とされ、鎮静せずとも、ほとんどの方が痛みや苦痛無く、話をしながら検査を受けることができます（もちろん不安な方は鎮静剤で眠って検査を受けることも出来ます）。また、検査前の食事をこれまでの低残渣食から、食物繊維とヨーグルト食に変えて、下剤の量を¼の500ミリリットルに減らす工夫を始めました。これまでの便を減らして下剤で無理やり出す方法から、便を増やしてスルッと出す方法に変換したことになります。これによって、午前中に検査を受けることが可能となりお昼には帰宅することが出来るのです。



平坦・陥凹型腺腫も内視鏡で切除出来ます。

切除された腺腫

私たちは安全・安楽な検査を追求することで、ひとりでも多くの方に検査を受けていただき、「大腸がん死撲滅」の目標を達成できるよう日々努力しています。検査にご興味をもたれた方はぜひお気軽にお問い合わせください。

訪問歯科センターからのお知らせ

小呂島への離島歯科訪問診療開始について

訪問歯科センター長 病院教授 森田 浩光

この度、福岡歯科大学医科歯科総合病院訪問歯科センターでは、小呂島への歯科訪問診療を開始することとなりました。

小呂島は、福岡市西区に属しますが、長崎県壱岐の東約20kmに位置する人口約180人の小さな島です。島内に医師や歯科医師の常駐はなく、医療関係者は保健師さんが1人常駐しています。このような状況のもと、福岡市および済生会福岡総合病院の依頼により、お年寄りなど特に本土に通院が難しい方々へのボランティア診療として、月1回、済生会福岡総合病院の医師・看護師とともに離島診療に参加することとなりました。

小呂島への交通手段は、姪浜渡船場より日に1~2便の連絡船しかないため、本離島診療は福岡空港から福岡市消防局所有のヘリコプターによる移動となります。島には無人の診療所があり、歯科診療室や歯科用チェアも備えられているため、ある程度の歯科診療ができる設備となっています。しかしながら、月1回のみに限られた診療ですので、義歯の調整や簡単な虫歯の処置、さらには応急処置に限られ、継続的な歯科治療や抜歯などの外科処置は、本土の歯科医院に紹介・通院していただくこととなります。当院訪問歯科センターは、このように限られた状況の中でも、できる限りのサポートをしていきたいと考えております。

これからも訪問歯科センターは、離島診療を含め、急性期病院から介護施設・居宅まで、地域医療を通じて口腔から全身の健康に寄与する口腔医学の実践として、患者の皆様の健康維持に貢献して参ります。



上空から見た小呂島



小呂島ヘリポート

地域訪問歯科診療のご紹介

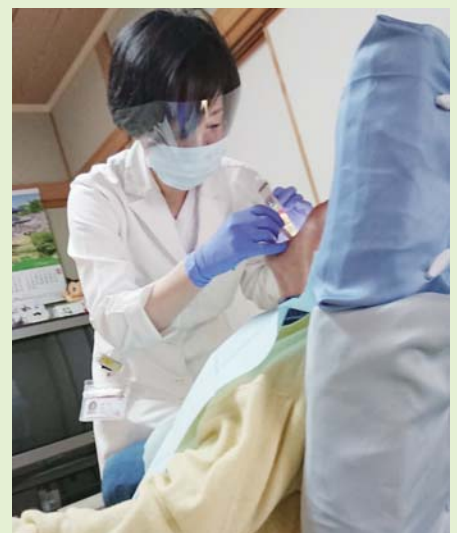
訪問歯科副センター長 講師 牧野 路子

わが国の高齢化率(2016年)は27%と報告されています。これは「4人に1人以上が高齢者である」ということを表しています。高齢化率の上昇に伴い、訪問診療をうける患者さんも大幅に増加しています。

当院も訪問歯科診療を約15年前から行っています。ご病気などにより歯科医院に通院することができない患者さんに対して、ご自宅や入所されている介護施設、入院されている病院へ訪問し、虫歯や歯周病の治療、入れ歯・冠の作製、口腔ケアなどを行っています。さらに、歯科衛生士によるお口の清掃指導も行っています。最近では、飲み込み(嚥下)に困難さを抱える方に対して嚥下機能検査やリハビリテーションも行っています。また、患者さんを介護される介護スタッフや病院スタッフを対象に清掃方法や嚥下など「お口の管理方法」についての勉強会も行ってきました。訪問歯科というと高齢者だけが対象と考えがちですが、何らかの理由により通院困難な患者さん、例えば小児や障害をお持ちの方も訪問診療を受けることができます。

厚生労働省は2025年を目途に地域包括ケアシステム(要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制)の構築を推進しています。当院はその一翼を担えるよう、地域の医療機関や介護老人施設、福岡市、早良区などと連携して地域を支えられる訪問歯科診療を目指しています。実際に福岡市歯科医師会の後方支援病院を務めています。今後は地域の歯科医院と患者さんを繋ぐ医院としても機能できるよう努めていきたいと考えています。

訪問歯科診療について詳しく知りたい方やご相談のある方などはお気軽に訪問歯科センターまでご連絡ください。



安全で安心なインプラント手術を目指してーデジタル技術の導入ー

口腔インプラント科 教授 城戸 寛史

どんな医療でもそうですが、技術の習得には一定の経験が必要であり、どんなに万全な準備を行っても、経験を積む過程では多少の試行錯誤が必要になります。インプラント治療では顎骨の中にインプラント体を埋入するわけですが、インプラント治療を成功させるためにはインプラント体を正確な位置に埋入する必要があります。また、顎骨にドリルでインプラントを埋入するための穴（埋入窩）を形成する際に、誤った方向にドリルを進めると、健全な組織を損傷し、重大な事態になる恐れがあります。そこで、福岡歯科大学インプラント科では、ドリルの位置をモニタリングするデジタル機器を導入して、安全にインプラント手術を行っています。この装置はCTで撮像した患者さんの顎骨の3Dデータ上に、モーションキャプチャー装置の応用で、ドリルの位置をリアルタイムで重ね合わせるものです。すなわち、装置のモニター上に患者さんの顎骨の断面が表示され、その骨断面像上に手術中の骨を削っているドリルの位置が正確に表示されます。術者は自分の使っているドリルが骨の中のどこにあって、危険なものに近づいていなかどうか視覚的に知ることができます。しかし、この装置ではモニターを見ながらの手術になるため、術者は患者さんから視線を切ってしまうことになります。私たちの教室では、この装置にウェアラブルモニターを組み合わせ、患者さんの口腔内から視線を切らずに、ドリルの位置を確認する方法を考案しました。この方法により、経験値に頼ることなく安全で正確なインプラント埋入手術を達成することができます。



「病院食に季節感と彩りを」 ～楽しく食べて回復へ～

栄養管理室 管理栄養士 樋口 みどり

栄養管理室の基本方針

厨房、配膳の衛生管理を徹底して安心できる食事を提供します
適切な栄養と満足できる味を患者の皆様を提供します

栄養管理室では上記の基本方針を基に、患者の皆様が安心しておいしい食事を食べていただけるように毎日の給食作りを行っています。さらに食器・食材・盛り付けに配慮を行い、見た目により食欲の増進へと繋がるよう努力を積み重ねています。また患者の皆様が季節感を味わっていただき、楽しく食事をしていただけるよう、月1回程度の行事食を提供しています。入院中の楽しみのひとつである食事でも、患者の皆様が笑顔になり回復へと繋げていけることを願って、食事と共に手作りカードを添えています。春は桜の花や蝶、夏にはひまわりやカブト虫、クワガタの折り紙を貼りつけるなど、季節感が出るように考えて作成しています。

これからも美味しい食事と手作りカードで患者の皆様を癒し、回復に繋げていければと思っています。



編集 後記

めっきり初夏の気候となりました。皆様、腸の調子はいかがでしょう。今回の広報紙では、医科部門に新たに開設された内視鏡センターから大腸検査についての耳よりの話が紹介されています。また、産経ニュースで紹介された「病院食に添えられた折り紙への思い」についても寄稿頂きました。そして、歯科部門からは訪問歯科センターおよびインプラント科からのお知らせが紹介されています。今年の夏は猛暑の日がさらに多くなる予想です。皆様ご健康にお過ごしください。（阿南 壽）

患者の皆様への権利

- ① だれもが個人の尊厳を尊重され、良質な医療を公平に安心して受ける権利があります。
- ② 患者には、病気や診療内容について納得できる十分な説明と情報を受ける権利があります。
- ③ 患者には、十分な説明と情報提供を受けた上で治療方法などを自らの意思で選択・決定する権利があります。
- ④ 患者には、診療における個人情報の秘密が守られ、プライバシーが保護される権利があります。
- ⑤ 患者には、ご自身の診療録の開示を求める権利があります。

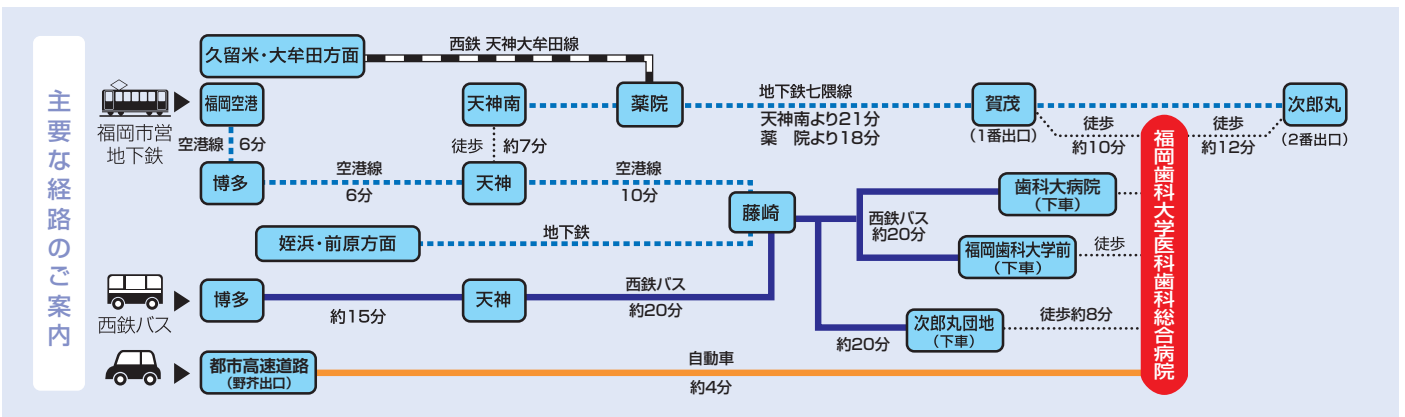
患者の皆様へのお願い

- ① 良質な医療の提供をうけるために、ご自身の健康に関する情報を正確に提供してください。
- ② 納得のいく医療の提供を受けるために、医療に関する情報と説明について十分理解できるまで質問してください。
- ③ すべての患者の皆様が等しく適切な医療を受けるために、他の患者や病院職員に支障を与えないよう配慮してください。

交通のご案内



診療時間 平日: 9:00~18:00 土曜日: 9:00~13:00
受付時間 平日: 8:30~11:30 土曜日: 8:30~11:30
 12:30~17:00 医科の新患・予約外の受付は15:00まで
休診日 日曜日・祝日・年末年始
入院患者 面会時間 平日: 13:00~20:00 休日: 10:00~20:00



福岡歯科大学医科歯科総合病院 〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号

ホームページアドレス <http://www.fdcnet.ac.jp/hos/>

お問い合わせは
(092) 801-0411(代)
FAX
(092) 801-0459

ご予約の変更や各診療科へのお問い合わせは (092) 801-0411(代)にダイヤルし、次の内線番号を教えてください。

総合歯科 127	口腔インプラント科 277	内科・脳血管・循環器・腎臓・糖尿病 203	皮膚科 709
口臭クリニック 127	口腔外科 243	小児科・神経小児科 511	形成外科・美容外科 211
高齢者歯科 127	口腔顔面美容医療センター/歯科 277	心療内科 137	耳鼻咽喉科 140
訪問歯科センター 347	矯正歯科 344	外科・消化器・腫瘍・乳腺・肛門 205	眼科 210
保存(むし歯)・歯周病科 278	小児歯科 242	内視鏡センター 203	麻酔科(ペインクリニック) 246
補綴(入れ歯)科 289	障害者歯科 223	整形外科・リハビリテーション科 349	放射線診断科 209